

# ラート eyt ; だより

編集：第一回全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会 / 実行委員長：小山信博

2005 / 9 / No.1



## インカレの感想

第一回全日本学生ラート競技選手権大会試合結果速報  
最も印象に残った選手は

# はじめに

2005年8月23日から24日の2日間、茨城県つくば市の洞峰公園体育館にて、第1回全日本ラート競技選手権大会（第1回ラートインカレ）が開催され、滞りなく閉会いたしました。関係する皆様、誠にありがとうございました。

第1回全日本ラート競技選手権大会実行委員会では、今後の大会に向けて、いろいろな報告をしていきたいと考えております。しかしながら、早急に報告したいことがある一方で、1回でまとめきるのは難しいこともございます。そこで、数回に分けて、第1回ラートインカレの報告をしていきます。毎回、薄い小冊子のようにして配布したいと考えていますので、どうかおつきあいいただければと思います。

第1号は、ラートインカレの試合結果速報と感想の特集です。今後、本誌やラートインカレ、またはラートそのものについてなど、特集してほしいことや知りたい情報がありましたら、[collegerhoenrad@hotmail.com](mailto:collegerhoenrad@hotmail.com) までぜひお寄せください。

ご意見、ご感想もお待ちしております。

# 目次

はじめに..... 1

試合結果速報..... 3

なににせよ気になる試合結果の速報です .

インカレの感想..... 8

第一回 《全日本学生ラート競技選手権大会》を終えて  
インカレに参加した方々のうち、選手として参加された方々の感想を掲載しました .

最も印象に残った選手は..... 16

インカレに出場した選手のなかで、最も印象に残っている選手は・・・??  
感想と一緒に尋ねた結果の集計です .

編集後記..... 小山信博 18

# 試合結果速報

## 規定演技の部 個人総合

順位	氏名	所属	跳越	斜転	直転	総合
1	護得久晋一郎	琉球大学	9.30	7.75	9.20	26.25
2	中川寛治郎	東海大学	9.50	6.70	8.20	24.40
3	古屋欽司	筑波大学	8.75	4.65	9.10	22.50
4	吉田望	筑波大学	7.90	6.80	7.75	22.45
5	森田雅彦	中京大学	8.90	4.85	8.10	21.85
6	福原一郎	筑波大学	8.20	5.70	7.90	21.80
7	森口更紗	筑波大学	7.85	4.25	8.15	20.25
8	磯田淳	東海大学	7.95	2.85	7.70	18.50
9	原田里穂	琉球大学	7.30	4.00	6.85	18.15
10	田村元延	琉球大学	8.85	2.55	6.60	18.00
11	坂田知瑞子	名古屋芸術大学短期大学部	7.65	2.40	7.60	17.65
12	大久保なつみ	琉球大学	7.20	3.00	6.95	17.15
13	御手洗毅	東京工業大学	8.00	1.25	7.80	17.05
14	井上勝裕	中京大学	8.45	1.10	7.35	16.90
15	瀬戸宗貴	中京大学	8.35	2.05	6.45	16.85
16	山崎友理	名古屋芸術大学短期大学部	8.00	2.05	6.60	16.65
17	真境名あずさ	琉球大学	7.45	3.30	5.65	16.40
18	駒田智哉	中京大学	7.35	1.95	6.70	16.00
19	田村憲一	筑波大学	6.80	2.15	6.80	15.75
20	田中健一	琉球大学	7.60	1.85	6.10	15.55
21	達野なるみ	琉球大学	6.15	2.40	6.90	15.45
21	安藤あゆみ	名古屋芸術大学短期大学部	7.75	1.70	6.00	15.45
23	桃井晶	東海大学	6.50	0.60	7.05	14.15
24	和田真理子	琉球大学	5.10	2.25	6.70	14.05
24	山本夏子	東海大学	5.75	2.05	6.25	14.05
26	岡島由加利	名古屋芸術大学短期大学部	5.55	1.25	6.10	12.90
27	浅野ひとみ	中京大学	5.60	-	6.90	12.50
28	横井友美	名古屋芸術大学短期大学部	5.25	-	6.55	11.80

29	水野美乃里	名古屋芸術大学短期大学部	5.45	-	6.15	11.60
30	近藤麻衣子	名古屋芸術大学短期大学部	5.75	-	5.75	11.50
31	柳楽絵里子	中京大学	4.65	-	5.95	10.60
32	池田麻里	筑波大学	8.05	1.20	-	9.25
33	長友木の実	筑波大学	-	-	7.50	7.50
34	山崎真由美	琉球大学	-	-	6.60	6.60
35	服部絵里	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	6.40	6.40
36	伊藤沙有理	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	6.20	6.20
36	浅野尚子	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	6.20	6.20
36	多湖直美	中京大学	-	-	6.20	6.20
36	仲本夏水	琉球大学	0.00	1.55	4.65	6.20
40	花邑奈津子	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	6.00	6.00
41	柴田梨恵	愛知大学	-	-	5.95	5.95
42	井上恵里	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	5.90	5.90
43	竹内美希	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	5.85	5.85
43	味岡宏恵	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	5.85	5.85
45	竹村規代	名古屋芸術大学短期大学部	-	-	4.90	4.90
46	鈴木幾美	中京大学	-	-	-	0.00

### 規定演技の部 団体総合

第1位	筑波大学 A	跳び越し	斜転	直転
67.15	吉田望	7.90	6.80	7.75
	福原一郎	8.20	5.70	7.90
	森口更紗	7.85	4.25	8.15
	古屋欽司	8.75	4.65	9.10
		24.85	17.15	25.15

第2位	琉球大学 A	跳び越し	斜転	直転
62.10	護得久晋一郎	9.30	7.75	9.20
	大久保なつみ	7.20	3.00	6.95
	原田里穂	7.30	4.00	6.85
	真境名あずさ	7.45	3.30	5.65
		24.05	15.05	23.00

第 3 位	東海大学	跳び越し	斜転	直転
58.50	中川寛治郎	9.50	6.70	8.20
	磯田淳	7.95	2.85	7.70
	山本夏子	5.75	2.05	6.25
	桃井晶	6.50	0.60	7.05
		23.95	11.60	22.95

第 4 位	中京大学 A	跳び越し	斜転	直転
56.70	井上勝裕	8.45	1.10	7.35
	森田雅彦	8.90	4.85	8.10
	瀬戸宗貴	8.35	2.05	6.45
	駒田智哉	7.35	1.95	6.70
		25.70	8.85	22.15

第 5 位	琉球大学 B	跳び越し	斜転	直転
50.00	遠野なるみ	6.15	2.40	6.90
	和田真理子	5.10	2.25	6.70
	田村元延	8.85	2.55	6.60
	田中健一	7.60	1.85	6.10
		22.60	7.20	20.20

第 6 位	名芸短大 A	跳び越し	斜転	直転
44.75	坂田千端子	7.65	2.40	7.60
	安藤あゆみ	7.75	1.70	6.00
	近藤麻衣子	5.75	-	5.75
	水野美乃里	5.45	-	6.15
		21.15	4.10	19.50

第 7 位	名芸短大 D	跳び越し	斜転	直転
41.35	岡島由加利	5.55	1.25	6.10
	山崎友里	8.00	2.05	6.60
	横井友美	5.25	-	6.55
	-	-	-	-
		18.80	3.30	19.25

第 8 位	筑波大学 B	跳び越し	斜転	直転
32.50	田村憲一	6.80	2.15	6.80
	長友木の実	-	-	7.50
	池田麻里	8.05	1.20	-
	-	-	-	-
		14.85	3.35	14.30

第 9 位	中京大学 B	跳び越し	斜転	直転
29.30	浅野ひとみ	5.60	-	6.90
	柳楽絵里子	4.65	-	5.95
	鈴木幾美	-	-	-
	多湖直美	-	-	6.20
		10.25	0.00	19.05

第 10 位	名芸短大 C	跳び越し	斜転	直転
18.60	花邑奈津子	-	-	6.00
	浅野尚子	-	-	6.20
	服部絵里	-	-	6.40
	竹村規代	-	-	4.90
		0.00	0.00	18.60

第 11 位	名芸短大 B	跳び越し	斜転	直転
17.95	伊藤紗有理	-	-	6.20
	味岡宏恵	-	-	5.85
	井上恵里	-	-	5.90
	竹内美希	-	-	5.85
		0.00	0.00	17.95

#### 自由演技の部 跳び越し

順位	氏名	所属	学年	得点
1	中川寛治郎	東海大学	大4	9.20
2	護得久晋一郎	琉球大学	大4	8.55
3	田村元延	琉球大学	大1	8.15
4	森田雅彦	中京大学	大2	7.90

5	古屋欽司	筑波大学	大2	7.55
6	瀬戸宗貴	中京大学	大1	7.50
7	井上勝裕	中京大学	大2	7.40
8	福原一郎	筑波大学	大2	6.35

#### 自由演技の部 斜転

順位	氏名	所属	学年	得点
1	護得久晋一郎	琉球大学	大4	8.60
2	中川寛治郎	東海大学	大4	7.10
3	吉田望	筑波大学	大3	6.65
4	古屋欽司	筑波大学	大2	5.00
5	福原一郎	筑波大学	大2	4.10
6	森田雅彦	中京大学	大2	3.45
7	森口更紗	筑波大学	大2	3.15
8	原田里穂	琉球大学	大3	2.90

#### 自由演技の部 直転

順位	氏名	所属	学年	得点
1	護得久晋一郎	琉球大学	大4	8.50
2	中川寛治郎	東海大学	大4	8.25
3	古屋欽司	筑波大学	大2	8.20
4	福原一郎	筑波大学	大2	7.60
5	吉田望	筑波大学	大3	7.30
6	森口更紗	筑波大学	大2	7.10
7	御手洗毅	東京工業大学	院5	6.60
8	森田雅彦	中京大学	大2	4.90



# インカレの感想

《第一回 全日本学生ラート競技選手権大会》を終えて

## 感想に寄せて

参加された選手のみなさんの感想を掲載しました。感想の下のイニシャルと性別に続く数字は、感想の冒頭の《たのしかったか》の評価です。今回の大会の感想では、4の方と5の方しかおられませんでしたので、みなさん全員が、〈たのしかった〉か〈とてもたのしかった〉を選んでくださったようです。実行委員会としては、とてもうれしいことです。

感想は、

競技に参加してくださった選手の皆様、観戦しにきてくださった皆様、審判やスタッフとして協力してくださった皆様、その他いろいろなことかかわりを持ってくださった皆様、《第一回 全日本学生ラート競技選手権大会》はどうでしたか。たのしかったですか。あなたの感想をお聞かせください。

ということで尋ねました。

評価として、

どれかひとつに をつけてください。

5：とてもたのしかった。

4：たのしかった。

3：たのしかったとも、つまらなかったとも、いけない。

(どちらともいけない)

2：つまらなかった。

1：とてもつまらなかった。

感想として、

その理由をお聞かせください。

たとえば、 でなぜ〔5・4・3・2・1〕を選んだのか、その理由を書く（どんなところがたのしかったか、どんなところがつまらなかったか）とか、あるいは、

競技の中で、「へえー、こんなことがあるのか」「スゴイナー」「オモシロイナー」「勉強になるなあ」「むずかしいなあ」「はじめて知ったなあ」などと感激したり、驚いたことなどを書いてもいいし、

友達で活躍している人を見ていて「えらいなあ」と感動したり、「さんみたいになれたらいいな」なんてことを書いてもよいのです。

「うれしかったこと」「悲しかったこと」「くやしかったこと」「残念だったこと」「よかったこと」……はありますか。

あなたの気持ちを教えてくださいね。とにかく何でもよいのです。思ったことを気楽に書いてください。

ということで、感想用紙に記入してもらいました。

それでは、どのような感想が寄せられたのでしょうか。

- いろいろなすごい人の演技を見ることができて自分もこうなれたらいいなというあこがれとともに、こういう技もあるんだなと勉強になりました。(Y.O 4)
- いろいろな人と交流したり、たくさんの方の演技を見てすごく勉強になった。自分の演技は普段失敗しないところで失敗したのでとてもくやしかった。この大会ではとりあえず出ることが目的だったので、これからいろいろな技を練習して将来大活躍したいです (A.M 4)
- 私は普段はラートは楽しくやるもの、という感じでやっていたけれど、今回始めて大会に出場して見てラートで競い合うことを知りました。自分の演技に点数をつけてもらうのも初めてで、それもおもしろかったです。とりあえず演技をやりきることにせいっぱいで点数のことは何も考えてなかったけれど、思ったより点があつてうれしかったです。いつも一緒に練習している人たちの最高潮に真剣な姿が見れて、みんなを見る目が変わりました。来て良かったです。(R.S 4)
- 小山実行委員長の司会が、進行も含めて上手だった。来年は当日のスケジュールも時間ごとに詳しく記述すると良い。初日の会場設定は段取りが悪い。全体の床の図面を作成し、誰でも分かりやすく、作業しやすいよう配慮すべきだ。沼津の学生さんは全日本大会などでノウハウを持っているので意見交換すればよりよくなると思う。体育館は、広く、練習もできるスペースがあ

り、来年もパネルヒーターの問題が解決できれば使用してほしい。パンフレットには、各級の満点が表記されていない、初めて大会に出場する人には分かりにくいシステムであるため、5級～点、4級～点満点などと明記すると分かりやすい。それか、HP アドレスを書き、そこにアクセスすれば、全部分かるようにしてあるとイイ。バスは一度に向かうと混雑してしまうので、2回に分けて開場へ向かうと良い。規定演技は、直転では3級以上、跳び越しでは開脚以外で演技しないと決勝まで残れないので、来年は今年をバネに決勝まで進めるように気合を入れてのぞみたいと思います。講習会で、演技の級の最終確認を本谷さん、西井さんの下で行なえたので、次回も日程は講習会 インカレでやってほしいと思います。級の映像が限りなく古いので、新しく作成したほうが良いと思います。その際にはぜひ古屋欽司君が模範演技者になると非常に良いと思います。最後に... 田村さん(院1年)はナイスなキャラでした。コメントの最後の笑顔がいけてると思いました。以上。(H.M 4)

- 参加選手全員、以前よりもきれいに演技をしていて驚いた。自分にとって良い刺激を受けた。他の参加選手を見て細かいところなどに注意して演技するといった面がとても勉強になった。よい大会であったと思う。(J.I 4)
- 色んな選手の演技を見ていて、すごく感動しました。技だけでなくすごくキレのある演技で「あんなふうにはラートができるようになりたい」と思いました。すごく良い勉強になって、大会に来てよかったです。(N.A 4)
- 跳び越し、斜転、直転など、上手な人の演技が見れて、すごいなーと思いました。1級の演技は、ビデオでは見たことがあったけれど、目の前で見たのは初めてだったので、見ていてすごく楽しかったです。(E.H 4)
- 級が難しいのをやっている人や、上手な人のがみれて楽しかったです。(E.I 4)
- 跳び越しはあたまの中が真っ白になって何も考えれなかったけど楽しかった。他の大学の人たちの演技は見ていて圧倒されるものばかりだった。もっと技術を上げたい。と大会の中でそう思うことができたので良かった。来年は絶対にもっとうまくなりたい!(M.M 4)
- 自分より上手な人たちばかりで、見ることにしても自分が演技を行なうにし

ても、すべてが勉強だったので、とても充実していたから。(T.K 5)

- 今回の大会は出るつもりもなかったし、出たくなかったが、結果的に大会に出場し、試合の雰囲気を楽しめてよかった。まあ、体と心が疲れているので当分ラートはしません。全日本も多分できませんが、今回のインカレで、またラートやってもいいかなあと思えました。来年のインカレは出られませんが、今年以上にもり上がるといいな。(K.N 5)
- 初めてラートの大会にでて、すごい緊張しましたが、どくとくのドキドキ感が味わえてとても楽しかったです。レベルが高い人の演技でたくさん感動しました。自分ももっとたくさん努力して、人を感動させれるような演技ができるようになりたいです。(H.A 5)
- 競技を見ていて、自由演技のときなど見たことのない技などがたくさん出てきて「すごい」の一言しかできませんでした。でも、難しそうだなとも思いました。みんな1つの技を完成するのにたくさんの時間をついやして練習し大会に臨んでいるんだろうなと思いました。自分も同じように大会に出れて緊張したけど、とてもいい経験ができてよかったです。(S.I 5)
- ラートをやっている人達はだれもがいきいきしていました。さまざまな人の技を見ることができて勉強になり、今後の目標なども見つけることもできました。練習どおりにできなかつたことは少し心残りでしたが、とても楽しかったです!!!(N.H 5)
- ラートを組み立てたことがなかったので、組み立てを手伝ったことがとてもいい経験になりました。みたことのない技が見られたり、世界大会に出たことのある人の演技が見れて、感動しました。新しい友達ができたり、他の大学の人と話をすることもできて楽しかったです。自由演技の直転はずっと口があいたまんまでした。斜転は床が滑るのにもちなおしたり、見ていてこっちもドキドキしました。とても選手みんながかっこよくて、自分もがんばろうと思いました。(H.A 5)
- 斜転に出れなかったことがとてもくやしかったです。名芸では自分にあった斜転のラートが故障中で講習会で何とかしよう努力したけど、できませんでした。だけど、去年までできなかった跳び越しに開脚跳びだけど、でれたことがとても嬉しかったです。直転の前はすごく緊張して泣きそうでした。

直前で休憩になったし・・・。去年のインカレ，全日本，今年のインカレではとても多くのことを経験することができ，とてもよかったです。(Y.Y 5)

- 今まで見たことのない技を見ることができ，新たに自分の課題を見つけることができました。(C.S 5)
- さまざまな演技を見ることができて，とても刺激的で，もっともっとラートがうまくなりたいと思いました。自分とどこが違うのかを見つけたり，どうやったらきれいにできるのかわかったりとても勉強になりました(A.A 5)
- 前日，級検定を受けて，インカレに出場しました。床がいつもよりよくすべるので加減するのがとても難しかったです。いろいろな人を見て，どこをどうすればきれいに見えるのか，自分となにが違うのか，勉強になりました。自分の演技(?)には満足できなかったけれど，とてもいい経験になりました。(M.T 5)
- 講習会の疲れで不完全燃焼でした。技の難度への拍手があればもっと良かったと思います。(K.I 5)
- ラートを初めて3ヶ月?くらいですが，今回のような大会に出れたこと，直転でも自分の中では，満足できていて，大会を楽しむことができました。ただ1つ斜転を棄権したことくらいでした。(M.K 5)
- 今までラートがこわくて，ビクビクしながら毎回まわっていたのケド，本番のトキ，今まで通せなかったのに，少しは押しもらったケド，最後まで落ちないでできたコトがすごくうれしかったです。(T.T 5)
- 大会に関わった人みんな協力して，大会を盛り上げることができたのがとてもうれしかった。また，色んな演技を見ることができてとても勉強になった。(N.T 5)
- 級をここまで練習して，姿勢に気を配ることができたのは良い経験になりました。(R.H 5)

- 競技終了時に、「選手は退場してください」などの本部のアナウンスなどをしっかりやっていただくと、自分達選手もとまどわないと思いました。(M.T 5)
- 初めてのラートの大会で、他校の演技を見て、とてもよい刺激を受けました。とくに直転はみんな高得点で自分の未熟さを痛感しました。そして、予選を通過した選手に至っては本当にすばらしく、自分もあのくらい上達したいなと思いました。(K.T 5)
- 選手の動きと、審判の顔と手の動きを見てみると、「何で今チェック入ったんだ」というところがいっぱいありました。(K.N 5)
- 自由演技では知らない技がいっぱいで驚きの連続だった。私は怪我で大会には出られなかったけれど、見るだけで勉強になった。改めて先輩方のすごさも実感できたし、他の大学の人達の技を見て、ラートはすごくおもしろくて、自分も早く上達したいと思った。今度の大会は絶対参加して、自分の満足できるラートができるように今から頑張りたい。(M.Y 5)
- 心地よい緊張感の中で演技ができ、他大学の方とラートについての話もできたので、とても充実した時間を過ごせました。森さんよりいただきました斜転のアドバイスは非常に勉強になりました。教えてくださる方が大会の会場にいて、直前にもアドバイスをしていただけることは、私にとって、非常にありがたいことです。お願い 直転、斜転の途中の休憩は、事前に選手に伝えていただけるとありがたいです。突然、自分の演技前に間をあけられると、直前でモチベーションが下がりがねないと思います。(S.G 5)
- 同じ規定演技でも、1つ1つ細かいところに気を付けて演技するのとしのないのでは、大きな違いが出ることを実感し、常に気をつける練習をすることの大切さを実感しました。自分の演技では、3種目出場すると決めていたのですが、直前まで斜転ができず、「なぜ登録したんだろう…棄権するべきではないのか」と考え、悩んで先輩に相談すると、「失敗してもいいと思うなら、頑張ってみたら？」と言ってくださいました。そして、出場することを決め、その結果、1人で回ることが出来ました。“出場する”と決め、必死に練習した結果が出たことを嬉しく思い、そして、「やってみたら？」と言ってくださいました先輩にとっても感謝しています。また、跳び越して10位になることが出来、とても嬉しかったのに、直転で失敗してしまい、悔しかった

です。この様々な思いを胸に、目標とし、尊敬している先輩に少しでも近づけるように、がんばっていこうと思いました。(Y.Y 5)

- 今回初めて競技しているところを見て、とてもおもしろかったです。見たことのない動きがたくさん見ることができ、とてもいい経験になったと思います。第1回のこの大会に出場できて、とてもうれしく思います。(N.T 5)
- 今回、団体4位、個人総合では5位になることができました。昨年から活動しはじめたサークルがこのような成績を残せたのも、大島先生、六鹿さんを始め、名芸のみんなが中京をころよく練習に参加させてくれたからだと思います。又、たくさんの方々が愛知のみんなを応援してくださって本当に感謝しています。本当にありがとうございました。(M.M 5)
- いろいろな大学の演技を見てすごくいい刺激になりました！！年に2回大会があると、練習で集中力を保ちやすいので、いいです。あと、クーラーが少しききすぎていたと思います。演技前に体が冷えてしまうので次回大会では気をつけるべき点だと思います。(N.O 5)
- 跳び越しとか斜転、直転で8位までに入った人はやっぱり自由演技で独自のものを持っているし、かつきれいで目がはなせなかった。こういう演技を見れたことが今後にもためになって、初めて大会というものにきてよかったと思いました。(M.W 5)
- 第1回のインカレに出場することができ、とてもうれしかったです。他の大学の人の演技を見て、自分の演技はまだまだだなあと思いました。それと同時に、今まで以上にやる気も出てきました。次の全日本大会に向けて、もっともっと自分の技を磨きたいと思いました。(E.Y 5)
- ラートで初めての大会だったけど、跳び越しは決勝までいけたし、斜転も今まで成功しなかった5級ができて、よかった。跳び越しは次回もっと点を伸ばせるように頑張りたい。決勝の演技はいっぱい勉強できる場所があった。(M.S 5)
- 半年もサボっててよくやったと思う(N.Y 5)

- 他大学の学生と交流することができたのがとてもよかったです。委員長バンザイ！！あと，入場行進はあったほうがいいと思いました。(T.M 5)
- 規定の斜転が通らなかったのが心残りであるが，いろいろな人の演技が見れて勉強になった。目標もできて，よい刺激になった。競技の難しさを体感できたのは，次の全日本につながると思う。他の大学の人と意見交換や話ができ楽しかった。(K.F 5)
- 去年のプレには参加できなかったので，今回の第1回ラートインカレをとて楽しみにしていました。学生が準備し，手伝いに関わることで，学生それぞれのこの大会への思い入れが強まったように思います。団体戦があるためか，大会での雰囲気もとてもよく本当に楽しい大会になりました。来年もぜひ開催したいです。個人的には今回の大会に向けて初めて斜転に真剣にとりくめて実りあるものになりました。のぶ先輩本当におつかれさまでした。第1回 ラートインカレ 成功 バンザイ！！(M.I 5)
- 大会の雰囲気，他大学の選手を見れたため。ラート仲間が出来たため。選手として演技が出来，自分のことを考えることが出来たため。たとえば自分のレベルなど。そのために良かったです。ラートを始めたばかりなので，なかなか得点がでなかったのがくやしかった。次は演技に余裕を持って出場したいです。(K.T 5)
- もっと採点や規則のことなどを勉強したいと思った。大会の運営はとても大変だと思ったけど，やりがいのある仕事だと思った。次は選手や観客をもっと増やせたらなあと思いました。(I.F 5)
- 全体の感想としては，マイナースポーツだけあって，とても和やかな雰囲気の中で試合が行なわれている点が良いですね。たとえ，今後参加者が増えてもこの雰囲気は保ちたいと思いました。ただ，規定演技中も練習しても良いことにすると，観客が減ってしまい残念です。個人的な感想としては，コツコツ練習した直転1級で，努力の証が得点として表れたのでとても嬉しかったです。頑張ってよかったです。また，団体戦をすることで，団結力が高まり，結果として私達のチームを含め，おそらくすべてのチームにおいて，互いの協力によって技術が向上したように思います。これからも団体戦を続けましょう。(S.M 5)

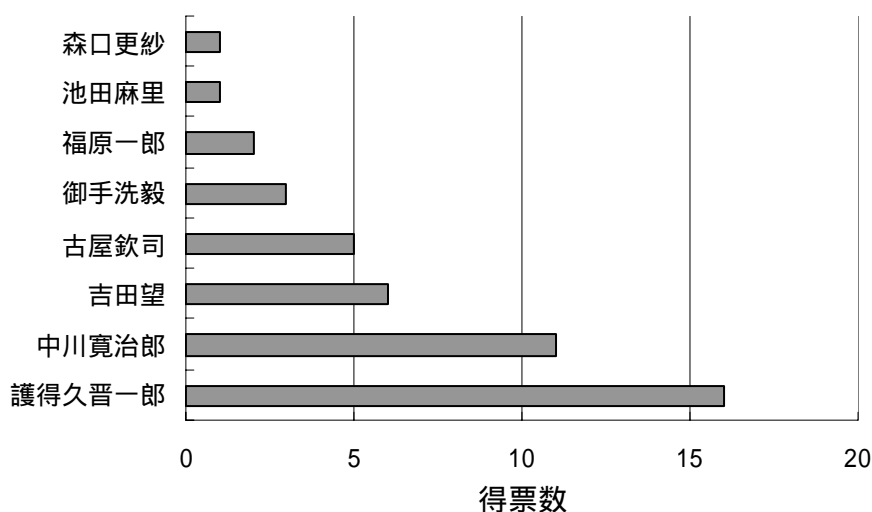


# 最も印象に残った選手は？

## 最も印象に残った選手

今回のインカレで最も印象に残った選手は一体誰だったのでしょうか。

みなさんに書いていただきました感想用紙の結果を集計すると、以下のようになりました。



最も印象に残った選手は、琉球大学の護得久晋一郎選手だったようです。

## 種目別にみると

さて、では、種目別にみると どうでしょうか。集計した結果をくわしく表にしたのが、以下の表です。

	規定演技の部			自由演技の部			不明	合計
	直転	斜転	跳越	直転	斜転	跳越		
護得久晋一郎	0	0	0	7	8	0	1	16
中川寛治郎	0	0	0	3	1	4	3	11
吉田望	0	0	0	2	2	0	2	6
古屋欽司	3	0	0	2	0	0	0	5
御手洗毅	1	0	0	0	0	0	2	3
福原一郎	0	0	0	2	0	0	0	2
池田麻里	0	0	1	0	0	0	0	1
森口更紗	1	0	0	0	0	0	0	1

規定演技の部の斜転では残念ながら該当者なしのようですが，その他はそれぞれに印象に残った選手がランクインされています．護得久晋一郎選手のインパクトは<自由演技の部>の直転・斜転で強かったようですし，次点の中川寛治郎選手のインパクトは<自由演技の部>の跳び越しで強かったようです．

# 編集後記

選手のみなさん，遠路はるばる，第1回全日本ラート競技選手権大会にご参加くださいまして，ありがとうございました。私の力不足や，準備不足もあり，みなさんには不自由な思いをさせたこともあったと思います。この場をお借りして，お詫びいたします。また，課題点はしっかりと第2回の実行委員会へと伝えていきます。

さて，大会が終わったあと，みなさんに書いてもらい，集めさせていただきました感想を一冊の冊子にまとめました。先日，大会の余韻が冷めぬまま，みなさんのペンの匂いが残る感想を読みました。1枚1枚めくるたびに，いろいろな思いに触れられ，大変感動し，思わず目頭が熱くなることもありました。厳しいご意見をいただいたものもありましたので，今後の検討課題とさせていただきます。

また，感想用紙の冒頭にありました，今大会が<たのしかったか>どうかの評価の平均は，4.74（審判や先生方含む）でした。第1回のラートインカレがみなさんにとって，とても楽しいものだったことがわかり，とても喜んでおります。

それでは，今度は全日本選手権でお会いできることを祈って

第1回全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会  
実行委員長  
小山信博

**ラートインカレだより 9月号 (No.1)**

発行日 2005年9月1日

編集者 第一回全日本学生ラート競技選手権大会実行委員会 編

発行者 実行委員長：小山信博

E-mail colleggerhoenrad@hotmail.com